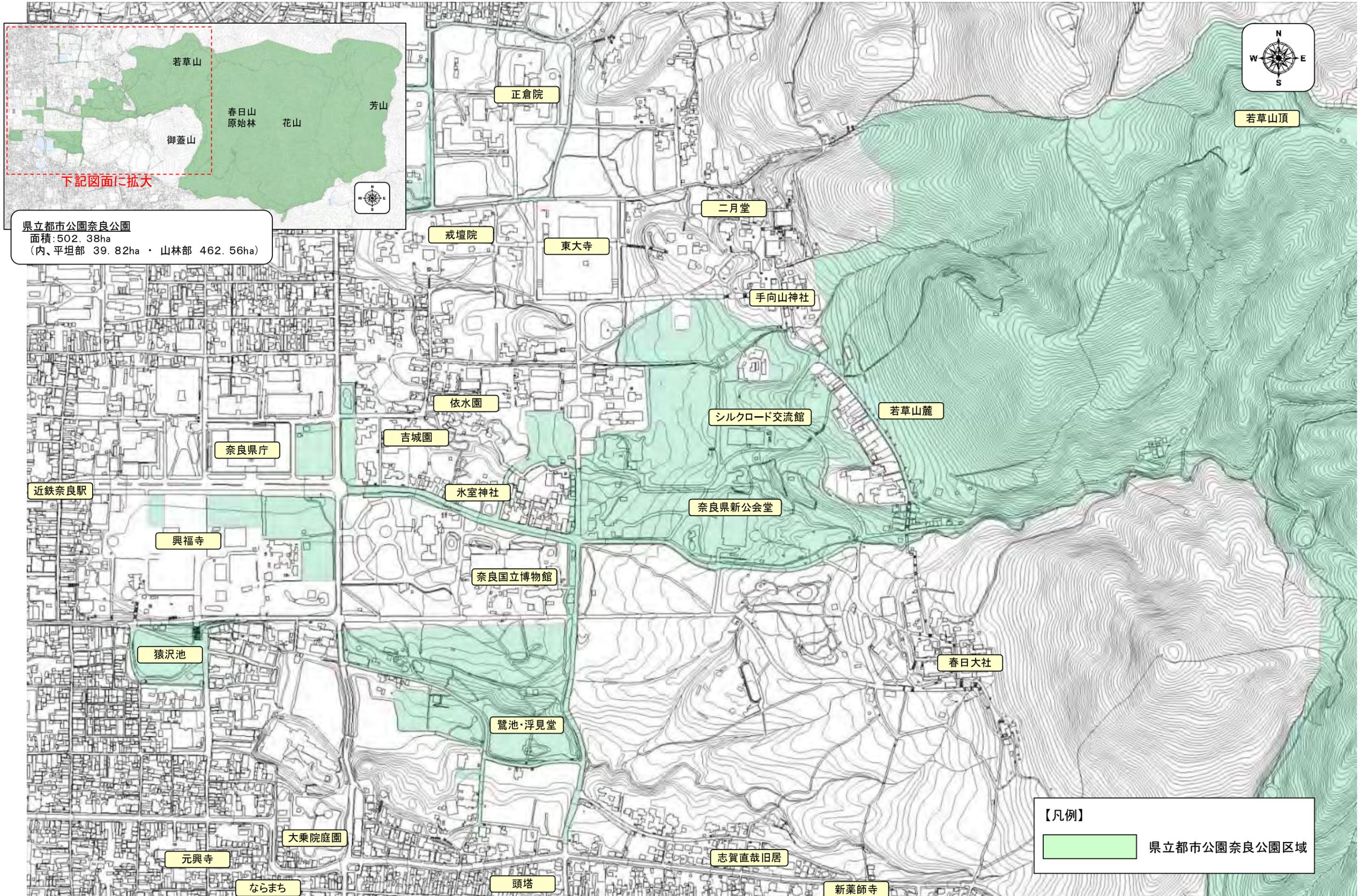
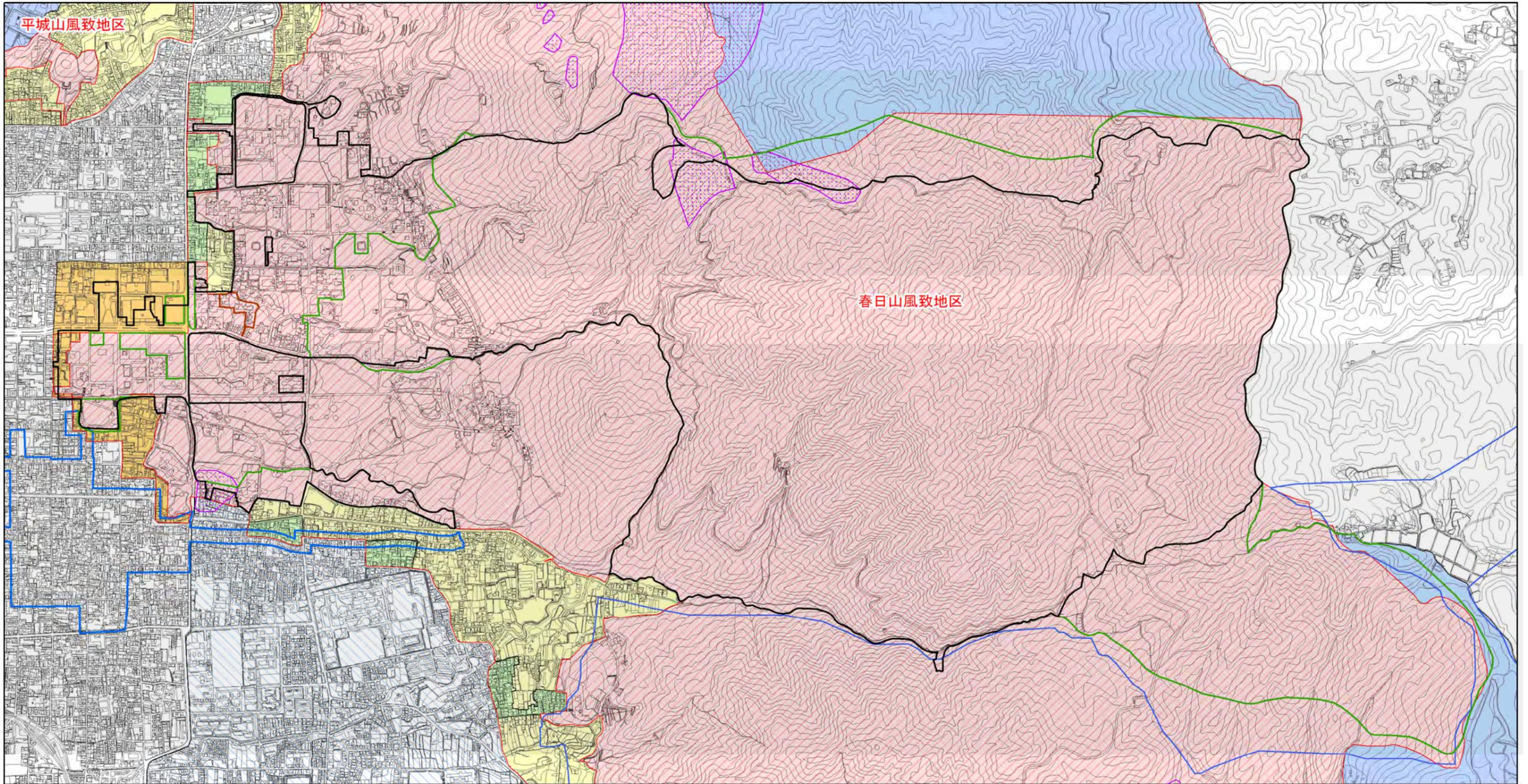


第1回 奈良公園地区整備検討委員会
奈良公園地区整備に向けた考え方について

1. 位置図①	1
2. 位置図②	2
3. 周辺の法規制	3
4. 周辺の文化財分布(全体)	4
5. 周辺の文化財分布(平坦部)	5
6. 奈良公園地区の特色および近年の動向	6
7. 奈良公園地区の魅力	7
8. 奈良公園地区整備に向けた考え方	8
9. 近年の奈良公園整備	9





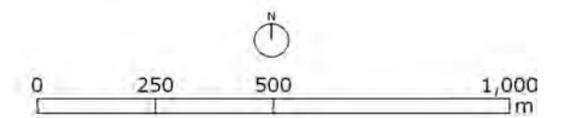


名勝奈良公園※ 風致地区

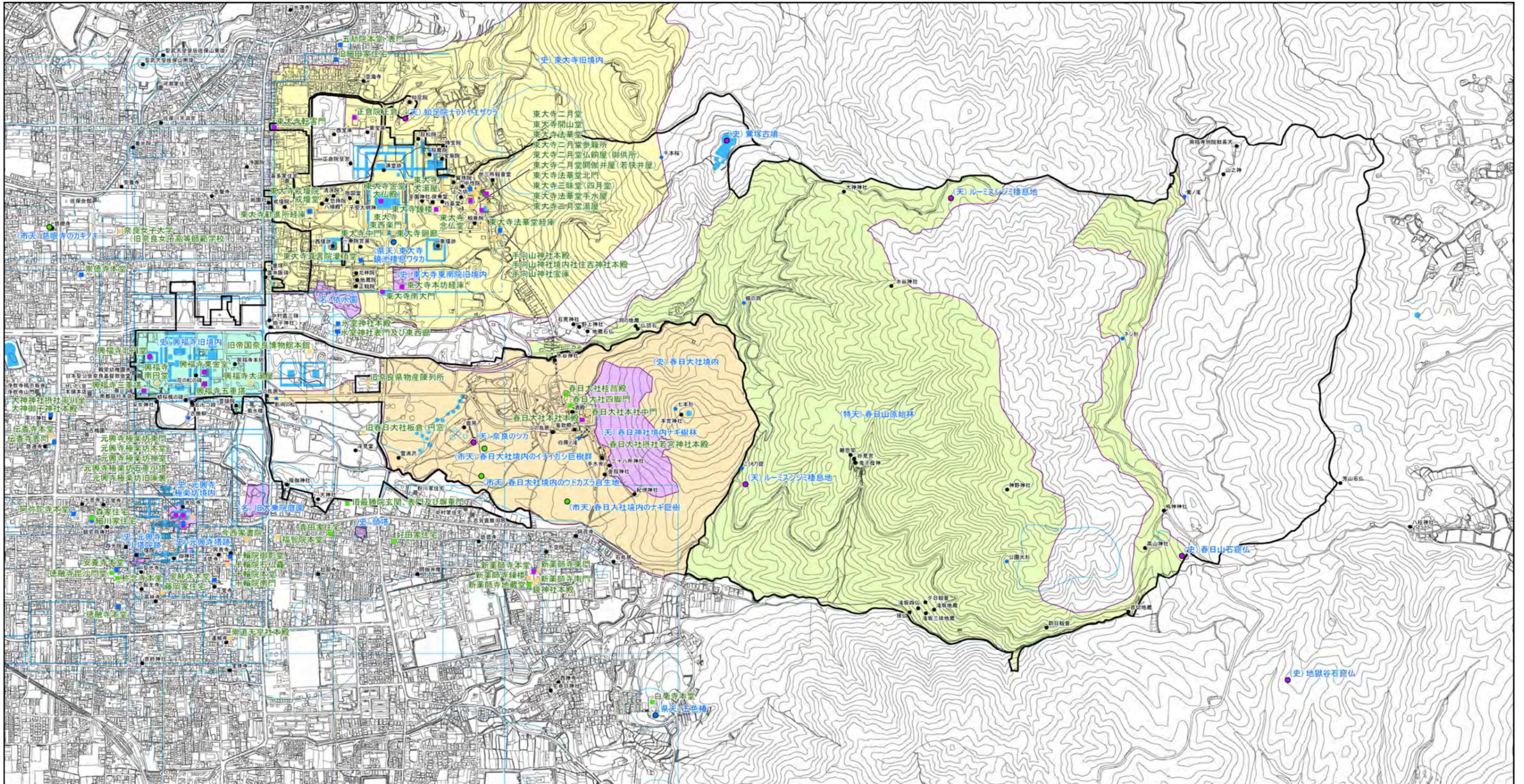


- | | |
|---------|------------------|
| 第1種風致地区 | 歴史的風土特別保存地区 |
| 第2種風致地区 | 歴史的風土保存区域 |
| 第3種風致地区 | 自然公園地域(大和青垣国定公園) |
| 第4種風致地区 | 県立奈良公園都市計画決定区域 |
| 第5種風致地区 | 吉城園都市計画決定区域 |

- | |
|---------------------------------------|
| 保安林 |
| 奈良町都市景観形成地区 |
| 屋外広告物禁止区域
奈良市屋外広告物条例第5条第11号に規定する地域 |



※出典: 奈良県教育委員会編『奈良県史跡名勝天然記念物集録1』を基に作図



名勝奈良公園※1



埋蔵文化財包蔵地※2

- 遺跡の範囲。古墳については、その可能性のあるものの、断定できないもの
- 古墳および伽藍配置。発掘調査等及び文献史料等に基づき想定される範囲
- 平城京条坊。発掘調査等で確認された遺構に、文献史料などを加味して想定した復元
- 条里制地割の復元線
- 寺域。条坊や条里の地割と遺構の一致などからの想定
- 発掘調査等及び文献史料等で確認はされていないが存在が想定される条里制地割または寺域

史跡・名勝・天然記念物

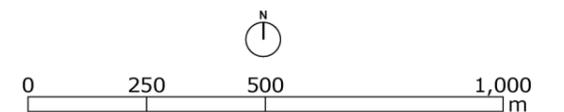
- 国指定史跡 春日大社境内
- 国指定史跡 東大寺旧境内
- 国指定史跡 興福寺旧境内
- 国指定特別天然記念物 春日山原始林
- その他国指定史跡・名勝・天然記念物
- 県指定史跡・名勝・天然記念物
- 市指定史跡・名勝・天然記念物

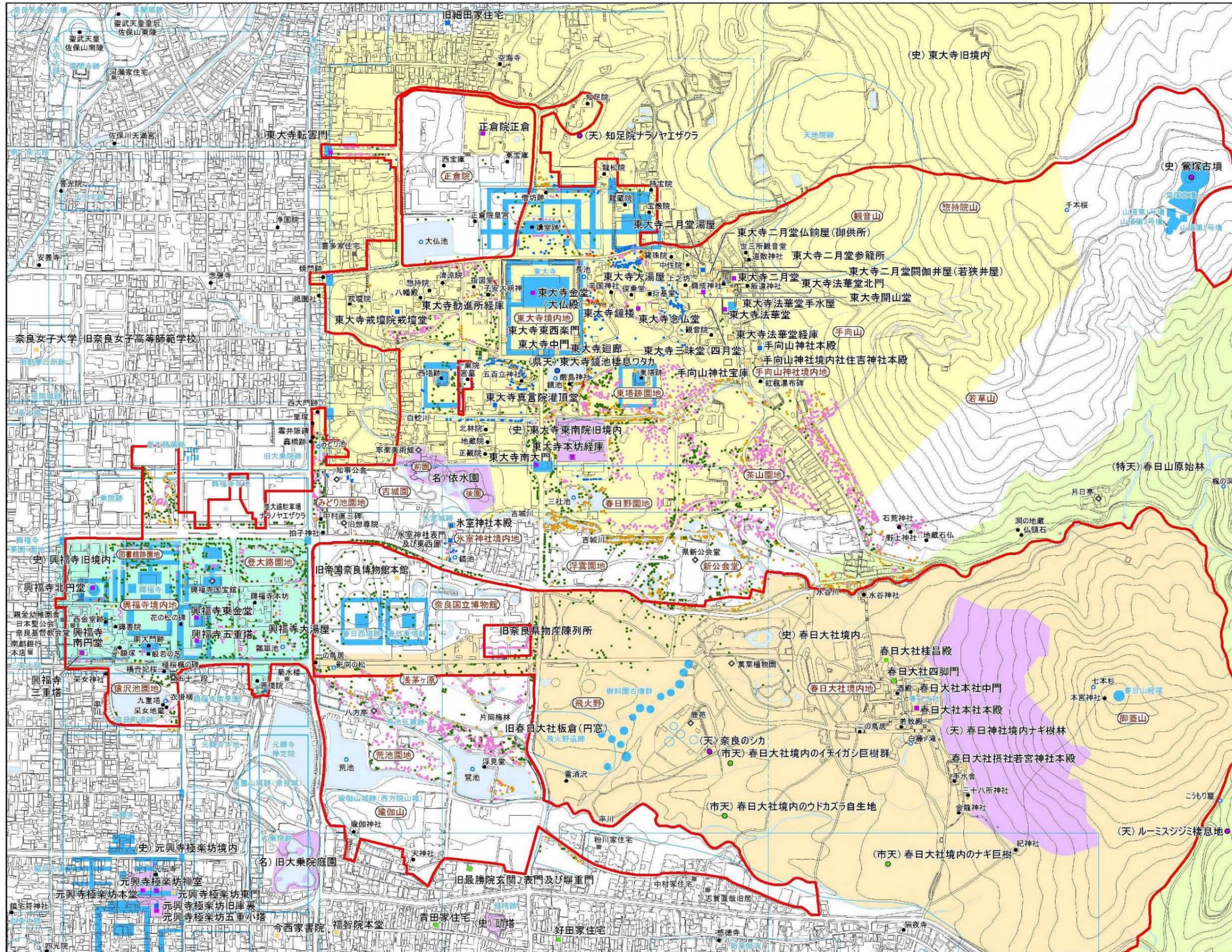
有形文化財（建造物）

- 国指定（国宝）
- 国指定（重文）
- 県指定
- 市指定
- 登録有形文化財（建造物）
- その他歴史的・文化的資源（文化財を除く）
- その他自然的資源（文化財を除く）

出典：奈良県資料および奈良市資料
『奈良公園史』附図「奈良公園図」

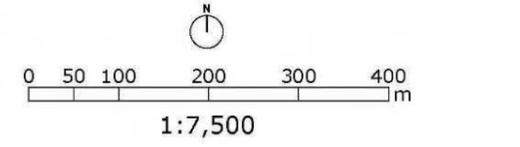
※1 出典：奈良県教育委員会編『奈良県史跡名勝天然記念物集録1』を基に作図
※2 出典：奈良県教育委員会『奈良県遺跡地図』





- 名勝奈良公園 ※1
- 平坦部の主な樹木分布状況 ※2
 - 松
 - 楓
 - 桜
 - 杉
- 有形文化財(建造物)
 - 国指定(国宝)
 - 国指定(重文)
 - 県指定
 - 市指定
- 史跡・名勝・天然記念物
 - 史跡 春日大社境内
 - 史跡 東大寺旧境内
 - 史跡 興福寺旧境内
 - 特別天然記念物 春日山原始林
 - その他国指定史跡・名勝・天然記念物
 - 県指定史跡・名勝・天然記念物
 - 市指定史跡・名勝・天然記念物
 - 登録有形文化財(建造物)
 - その他歴史的・文化的資源(文化財を除く)
 - その他自然的資源(文化財を除く)
 - ◇ その他公園施設等
 - 周知の埋蔵文化財包蔵地

※1 奈良県教育委員会編『奈良県史跡名勝天然記念物集録1』を基に作成
 ※2 奈良県資料『公園樹木台帳』および奈良公園史編集委員会編『奈良公園史』附図「奈良公園潜在自然植生図及平坦部樹木分布図」、現地調査によりH21.10作成



1. 奈良公園地区の特色

(1) 特色

- 明治 13 年の開設以来、公園の拡張や整備を繰り返し、その時々々の諸問題に対処してきた奈良公園は、わが国を代表する公園として、また県有数の観光地や都市近郊の自然地として、現在も広く親しまれている。
- 平成 10 年に奈良公園に隣接する文化財である東大寺や春日大社、興福寺、奈良公園内の春日山原始林を含む 8 つの資産が「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録された。
- 東大寺などの寺社仏閣、若草山や春日山原始林などの自然、国立博物館などの文化施設といった多くの観光資源が点在し、それらを奈良公園の緑地や園路が有機的に繋いでいる。この歴史と文化、自然、公園の融合が、独特の景観を形成している。
- 奈良公園地区の地形は西側から東側へ平地～丘陵地～山地となっており、その高低差は観光資源と相まって豊かな眺望を生み出している。また、若草山頂からは奈良の街並みを一望することができる。
- 寺社仏閣で行われる伝統行事や山焼きやなら燈花会やなら瑠璃絵などのイベント・催事が奈良公園地区に数多く存在する。
- 天然記念物「奈良のシカ」が生息し、独特の景観をつくり出している。また、観光客がシカと触れあうことができる。

奈良公園地区における主なイベント・催事（2010 年度）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	若草山焼き 1/23							ライトアップ 7/17～9/26	ロムナードなら 7/17～9/26			
東大寺	修正会 1/7	二月堂修 2/3	二月堂修 3/1～3/14	仏生会 4/8	聖武天皇御忌 5/2		解除会 7/28	大仏さまお身拭い 7/28				仏名会 12/14
興福寺	追善会 2/3	涅槃会 2/15		仏生会 4/8	放生会 4/17	文殊会 4/25	弁財天祭 7/7		新能 5/11～5/2	大般若会 10/17	慈恩会 11/18	総仏特別公開 10/7～11/23
春日大社	舞楽始式 1/11 (成人式)	節分万燈籠 2/3	春日祭 (申祭) 3/15	御田植祭 3/13	子供の日萬葉雅楽会 5/5	献茶会 5/10		中元万燈籠 8/14～8/15	采女祭 9/22 (中秋の名月)	文化の日萬葉雅楽会 11/3	萬葉雅楽会 11/18	春日若宮おん祭 12/15～12/18
他社寺			水谷神社風花祭 4/5	氷室神社献氷祭 5/1					手向山 10/5	八幡宮転書会 10/5		
その他	鹿寄せ 1/28～	なら瑠璃絵 2/11～2/14	芝能 3/22		鹿寄せ 3/20		なら燈花会 8/5～8/14	高円山 8/15	大文字送り火 8/15	芝能 9/15	鹿の角切り 10/9～10/11	正倉院展 10/23～11/11

(2) 交通

- 主要近接都市から電車（近鉄、JR）、車（第二阪奈道路、京奈和自動車道、名阪自動車道など）を利用し、約 1 時間でアクセスすることができる。

2. 近年の動向

(1) 観光客数

○ 奈良市年間観光客数（平成 16 年～平成 20 年） 単位：千人

年次	総数	宿泊客				日帰客			
		総数	一般	外国人	修学旅行	総数	一般	外国人	修学旅行
平成16年	12,933	1,977	1,825	34	118	10,956	9,916	273	767
17	13,050	1,928	1,791	36	101	11,122	10,128	287	707
18	13,468	2,063	1,931	36	96	11,405	10,369	316	720
19	13,883	2,188	2,052	42	94	11,695	10,531	450	714
20	14,351	2,284	2,147	47	90	12,067	10,912	471	684

奈良市への観光客の総数及び外国人観光客数は増加傾向にあるが、修学旅行客数は減少傾向にある。また、日帰り客が全体の約 8 割を占める。

(2) 奈良公園地区に関する近年の動向

- 奈良の歴史・文化・自然・景観への関心が高まっている。
（世界遺産登録（H10）、平城遷都 1300 年記念事業の開催（H22））
- 燈花会やなら瑠璃絵などの夜間イベントは、メディアに数多く取り上げられ、多くの観光客が集まるようになった。
- 公園施設の老朽化への対応や景観の向上を図るため、若草山麓の園地整備や春日野園地および若草山麓のトイレ整備、五十二段の補修などを実施している。

(3) 新たなニーズ

- 近年、旅行の個人化・成熟化によって、旅行者ニーズが多様化し、とりわけ地域独自の魅力を活かした体験型・交流型観光へのニーズが高まっている。
- 急速な少子・高齢社会の進展等により、すべての人が自らの意思で自由に移動できるように、施設や道路等のバリアフリー化が求められている。

奈良公園は、開設当初より各時代の要請に応じて公園を拡張し、整備を繰り返し、その時々々の諸問題に対処しながら、現在の姿を形作ってきた。一方で、新たに生じてきた問題・ニーズ等への対応が求められている。

○奈良公園地区の魅力

奈良公園地区の整備に向けて、奈良公園地区の魅力を整理する。

奈良公園地区の魅力として考えられるもの・・・

主に奈良公園地区の魅力を構成する要素が美しく調和した他に類をみない風致景観

例えば

- ・ 広大な面積に芝生と森林があり、広がりを感じられる
(さえぎるもののない広々とした空間)
- ・ 目前に若草山、春日山原生林を含む山々が連なる(豊かな自然)
- ・ 東大寺、春日大社などの社寺及び文化財との共生
(建築物、歴史文化体験)
- ・ 鹿の遊ぶ風景(鹿との共生)
- ・ 猿沢池、鷺池などの水辺空間
- ・ 山焼きなどの伝統行事
- ・ 静かな環境、平和な風景
- ・ 四季の移り変わりを感じられる
- ・ 若草山頂からの眺望 など



猿沢池から五十二段、興福寺を望む



なら燈花会開催時の浮雲園地から若草山



桜の季節に春日野園地から見る御蓋山



桜の季節に鷺池、浮見堂、御蓋山を望む

奈良公園の魅力を構成している要素とは

◇歴史的・文化的要素

- ・ 周辺社寺
(東大寺、春日大社、興福寺、氷室神社、新薬師寺、元興寺など)
- ・ 庭園地(吉城園、依水園、大乘院庭園)
- ・ 住宅(吉城園主棟、今西家住宅など)
- ・ 国宝・重要文化財(建造物)(東大寺金堂、春日大社本殿など)
- ・ 国宝・重要文化財(美術品)(阿修羅像、赤糸威鎧など)
- ・ 史跡鶯塚古墳 など

◇自然的・環境的要素

- ・ 若草山、御蓋山、五十二段 など
- ・ 園地(猿沢池園地、登大路園地、みとりい池園地、浅茅ヶ原園地、春日野園地、浮雲園地など)
- ・ 特別天然記念物春日山原始林、天然記念物奈良のシカ、天然記念物知足院ナラノヤエザクラ など
- ・ 自然植生、植栽樹木、芝生 など

◇行催事

- ・ 鹿の角きり、春日若宮おん祭、采女祭、二月堂修二会、追儺会、薪御能、若草山焼、なら燈花会、なら瑠璃絵、ライトアッププロムナード・なら、バサラ祭り など

◇その他

- ・ 博物館、美術館など

明治初期以降、整備、拡張などの変遷があったものの、周辺市街地・山麓・社寺等とのバランスが保たれて、奈良公園のイメージを保持してきており、更なる魅力の向上に向けて、奈良公園地区の魅力との調和が大切

○ 奈良公園地区の現状と課題

現在の奈良公園地区は、環境、観光、交通に関する課題も多く、これらの課題に対して、適切な対応を図ることが求められている。

(拠点整備に関すること)

- ・ 奈良公園地区内には低未利用の県有地が多数点在している。
(旧副知事公舎、旧青少年会館、古都買入地など)
- ・ 奈良公園の魅力を構成する「奈良のシカ」を管理している鹿苑が老朽化している。 など

(観光に関すること)

- ・ 閑散期などのイベントが少なく賑わいが不足している。
- ・ 奈良観光の情報発信が不足している。 など

(交通・移動環境整備に関すること)

- ・ 歩行環境の未整備や管理不足等により、「歩く楽しみ」「見る楽しみ」を低減させている
- ・ 若草山、新薬師寺、正倉院など奈良公園の中心から離れた施設は観たくても観ることが出来なかった人が多い。
- ・ 奈良公園地区周辺は観光シーズンに観光バス等の駐車待ちの車などで、交通渋滞が発生している。 など

奈良公園地区の更なる魅力の向上に向けて、現状と課題の解決を図り、かつ更なる魅力の活用・創造を図る



古都買入地の現況
(高畑裁判所跡地付近)



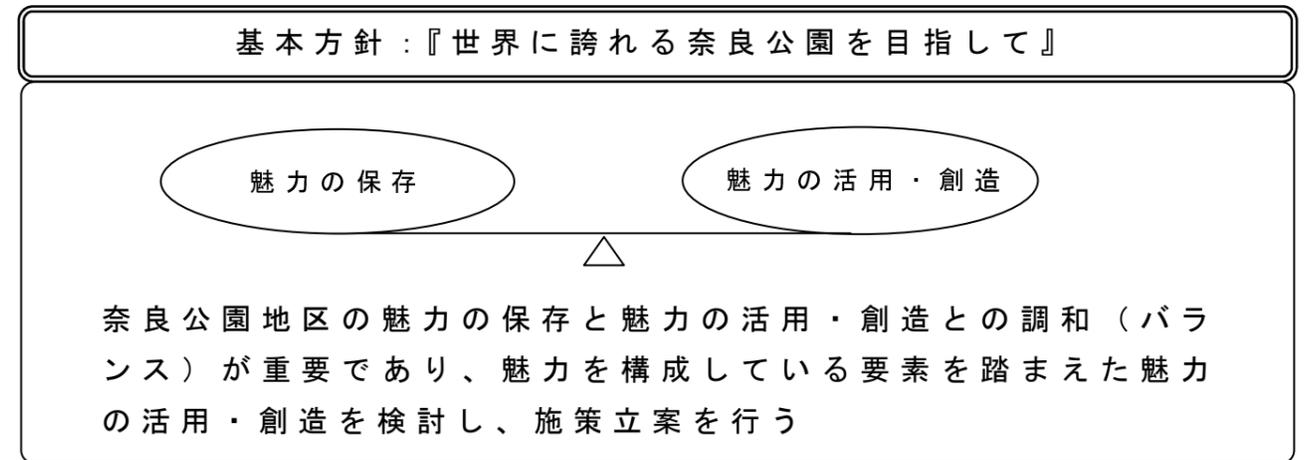
ガードケーブルの破損・劣化
(水谷茶屋付近)



観光シーズンの交通渋滞
(県庁前付近)

○ 奈良公園地区の更なる魅力の向上に向けた方針

奈良公園地区の特質、魅力や課題を踏まえ、多様な価値を多くの人々に享受していただき、公園としての適切な活用を図るために、以下の方針を定める。



◇ 魅力の活用・創造について

(公園の新たな拠点整備について)

『奈良公園の新たな魅力の創出』

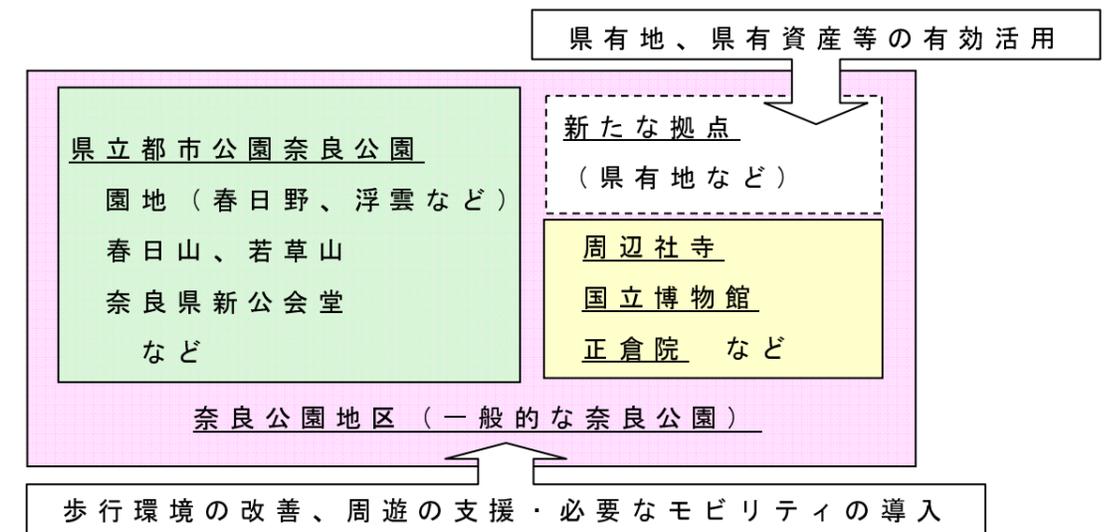
→ 県有地、県有資産等の有効活用 など

(交通・移動環境整備について)

『もっと奈良公園を楽しむために』

→ 歩行環境の改善、周遊の支援、必要なモビリティの導入など

【参考】奈良公園地区の構成と実施する施策のイメージ



平成20年度～22年度にかけて奈良公園で取り組んだもの

- 施設の老朽化への対応(五十二段、トイレなどの改修)
- 施設のバリアフリー化(多目的トイレ、スロープ園路の設置)
- 景観の向上(若草山麓の整備、大仏前参道やその他園路の舗装)など

【奈良公園周辺】
・案内サイン整備



【若草山麓】
・トイレ改築 ・園地整備



【大仏殿参道】
・参道石張り舗装



【猿沢池・五十二段】

【猿沢池・五十二段】
・五十二段補修



【国立博物館前歩道】
・園路舗装 ・照明整備



【春日野園地】
・園路舗装 ・トイレ改築、スロープ設置

